

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

○すべての児童が主体的に学習に取り組み、共に学び合う児童の育成

＜本年度の学力向上策＞

1 授業規律の徹底と学習環境の整備

- (1) チャイム始業、チャイム終業や学習時の基本的なルールを徹底する。
- (2) 理解を深めるような教材・教具、学習の軌跡が分かる掲示物を工夫する。
- (3) 生活カードを活用し、生活習慣と学習の関連を図り、家庭との連携を強化しながら児童の学習環境を整備していく。

2 「わかる」を実感できる授業づくり

- (1) 「課題把握→自力解決→伝え合い→まとめ→適用問題」という基本的な学習課程を全学年で実施する。
- (2) さいたま市「よい授業の4つの因子」を重視した授業を展開する。
- (3) ユニバーサルデザインの視点を取り入れたきめ細やかな指導を行う。

3 基礎学力定着を図るための取組の充実

- (1) 少人数指導（TT含む）を通じ、個に応じた指導を推進する。
- (2) 「学校課題研修（算数）」を柱としたチャレンジタイム等の取組を充実させる。

4 研究体制の充実

- (1) アンケートや調査等に基づく、個々の分析を行う。
- (2) 一人ひとりの学習過程に着目した研究を行う。

5 全国学力学習状況調査結果・さいたま市学習状況調査結果の分析と活用

- (1) 各学習状況調査の調査結果を分析し、成果と課題の明確化を図る。
- (2) 各調査結果の分析や、学力向上カウンセリング学校訪問を活用して、児童の実態に合わせた学力向上策の見直しを図っていく。

＜本年度の振り返り＞

- すべての児童が「主体的に学習に取り組むこと」に重点を置き、授業規律の徹底、学習環境の整備を含め、全学年で学校課題研修を推進・検証した。児童アンケート結果から、「よい授業4つの因子」が全体的に向上、特に「アクティブ・ラーニング」の数値が市平均を上回り、児童にとって魅力ある学習過程が展開され、研究の成果が表れていると考えられる。また、全国学力・学習状況調査における無回答率が全国平均と比較して低く、児童が学習に真面目に粘り強く取り組む様子が伺える。
- 今後もアンケートや調査等、客観的データも活用しながら、学校課題研究を中心として日々の授業づくりを更に深め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、特に「ユニバーサルデザイン」の視点を重視しながら授業改善・学力向上を図っていく。